



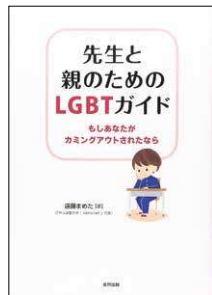
男女平等参画をはじめとするさまざまなテーマの本を紹介します。
男女平等推進センター「パリティ」の図書コーナーで貸し出していますので、
ぜひご利用ください。



こどもジェンダー

著 者 | シオリーヌ(大貫詩織)
出版社 | ワニブックス

いま、子どもといっしょに考えたい! LGBTQ+、ルッキズム、
ホモソーシャルのこと。助産師/性教育YouTuberとして活
躍するシオリーヌが伝える、ジェンダー・セクシュアリティに
まつわる36の質問。



先生と親のための LGBTガイド もしあなたがカミングアウトされたなら

著 者 | 遠藤まめた
出版社 | 合同出版

LGBTに関する基礎知識から、当事者の子どもたちの悩み、
教師や大人がどう対応したらいいのか、LGBTに関する支
援団体や相談先情報などをQ&A方式で紹介しています。



改訂新版 LGBTってなんだろう?

自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性

著 者 | 薬師 実芳/笹原 千奈未/古堂 達也/小川 奈津己
出版社 | 合同出版

体育やプール、制服、学校行事、友だち関係、カミングアウト
……LGBTの子どもたちにとって、日常生活の中にもたくさんの
つらい場面や不安な要素があります。教育に携わる人はもちろ
ん、子どもと関わるすべての大人に読んでもらいたい一冊です。

企画運営委員さんに
聞いてみました

性的 マイノリティ について

男女平等推進センター企画運営
委員会の発信だからこそ、多様な
性のあり方についてもっと考える
余地があると感じます。
LGBTQ+という言葉がいらなくな
る社会を願いつつ、私はアライと
して支え続けたいです。 寺澤委員

LGBTQ+という言葉を通して見えてくるの
は、性や身体を感じ方が一人ひとり違うの
は当たり前だということ。機械ではない生
き物である私たちの身体や心はそもそも多
様です。人それぞれ違うのは当たり前。同
じ人でも人生の中で変化します。多様性を
理解し合うことは、自分も相手も大切にで
きるやさしい社会への第一歩です。 大森委員

自分の価値観で少数派を非難する
ということとはとても恥ずかしいこと
だと思います。誰もが胸を張って生
きられるように、性的マイノリティが
もっと当たり前になり、お互いを尊
重できるハッピーな世の中になれば
良いなと心から思います。 浅見委員

日本では、同性カップルは法律婚でな
いため、相続を受け取る権利がない現
状があります。 法制度が、特定の人の
権利を排除していることは非常に残念
です。 全ての人が平等に生活できる社
会を築いていくことを心から願っていま
す。 この冊子を通じて、理解と共感が
広がることを期待しています。 秦委員

LGBTQ+への理解は、誰もが自
分らしく安心して過ごせる社会
をつくる大切な一歩だと思いま
す。お互いを自然に受け入れ合
える環境がもっと広がっていっ
てほしいです。 佐藤鹿子委員

今、性の認識や理解は多様化していて、
特に子ども・若者たちにとって、自分のア
イデンティティやセクシュアリティを探
索することがますます一般的になってい
ます。正しい情報や知識を身に付け偏見
や誤解をなくしていくことや、子どもたち
が安心して自分らしくいられるように親と
して備えたいと思いました。 内海委員

LGBTQ+について本や記事を読み、当事者の
話を聞き、イベントに参加して知識を深めた
いと考える。「彼女」「彼氏」などの性別を特
定する言葉を避ける。「恋人」「パートナー」な
どの言葉を使うように心がけ、差別的な言葉
や表現を使わないように、LGBTQ+に対する
誤解や偏見に基づいた発言や行動を見かけ
たら、勇気を持って指摘したい。 稲葉委員